



IMCJ

Innovation Management College of Japan

イノベーション 経営カレッジ2022

Innovation Management College2022

自社の変革を目指した
「活きた問題解決力」を磨きます

IMCJ 2.0 (2022年 第20期)

前半 10月4日(火) ▶ 7日(金)

後半 11月8日(火) ▶ 11日(金)

総括 12月22日(木)

会場

前後半 軽井沢プリンスホテルウエスト(長野県軽井沢町)

総括 都内

参加費用(1名様)

698,000円(税込)

※個室宿泊費・食事代含む。
会場への往復交通費含まず。



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
Japan Users Association of Information Systems

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 日本橋堀留町2丁目ビル8階
TEL : 03-3249-4101 HP : <http://imc-j.jp/> E-mail : im_college@juas.or.jp IMCJ事務局

明日のイノベーション経営の担い手を育成

イノベーション経営カレッジ(IMCJ)とは

今日、世界中でパラダイムシフトが起きています。この激しい変化のなかで企業が存続していくためには、パラダイムに適応した新たなビジネスモデル、新しいビジネスプロセスを模索していかなければなりません。今や変革に不可欠な存在となったデータとデジタル技術。

これらを武器として活用し、新しい価値を創造することが「イノベーション経営」です。そして、イノベーション経営を実現するうえで、人の心の変革も、欠かすことのできない重要なファクターです。イノベーション経営カレッジは、「企業と人の心を変革するイノベーション」を実践する人材を支援する場です。「プログラム」「コミュニティ」「ラボ」という3つの活動を通して、「イノベーション経営の普及・推進」に取り組んでいます。

このうち、「プログラム」のIMCJ2.0では、2009年より、次代のイノベーション経営を担うミドルマネジメント層向けのプログラムを実施、のべ310名の卒業生を輩出してまいりました。いずれも企業の中核を担う人材として活躍されています。

IMCJ 2.0 プログラムの構成と特徴

特徴

実践的

「守(前半)」「破(後半)」「離(総括)」という3つのステップで実践力を磨きます。

体系的

社会環境をふまえ、今~数年後に変革を担う人材に必要な知識や考え方を体系的にプログラムに盛り込んでいます。

ここでしか聞けない

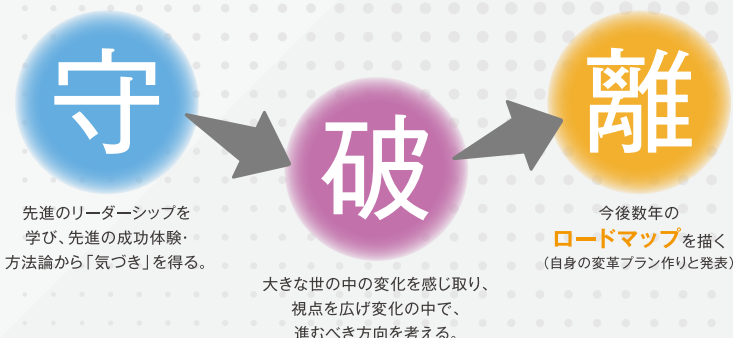
講師陣は日本を代表するCEOやCIO中心。その経験とノウハウ、マインドを惜しむことなく披露していただいています。

企業を超えたネットワーク

終了後も同期生だけでなく、他の期の受講生や講師陣との様々な情報交換を支援。

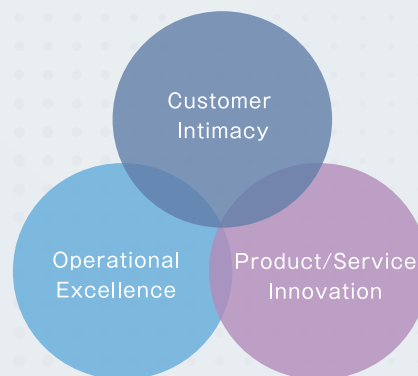
プログラムの評価

1~19期を通し、受講された方の満足度は、「とても満足」が約8割。



構成要素

イノベーションの実践 (業務やビジネスの変革)



環境整備

企業内変革

組織・人材・
企業内文化

IT変革

IT・デジタル技術
活用環境の整備

リーダーシップ

Innovation Management College2022

IMCJ 2.0 カリキュラム例 (2021年第19期)

	AM1 9:00-9:30	AM2 9:40-12:10	PM1 13:30-14:20	PM2 14:40-15:30	PM3 15:50-16:40	PM4 17:00-17:50	PM5 18:10-19:00
前半	1 目 目			◆オリエンテーション 「イノベーションリーダーへの期待」 JUAS 専務理事 三宅 晃		◆講義 「デジタルイノベーションの潮流と 情報システム部門の役割」 株式会社インプレス 編集主幹 兼 ビジネスメディア事業部 第一編集統括部 部長 兼 IT Leaders編集部 プロデューサー 田口 潤 氏	交流会 (18:30-20:00)
	2 目 目	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「データドリブン経営～SCMとMKに 関する情報活用」 元 花王株式会社 理事 情報システム部門 統括 大路 延憲 氏	◆ケーススタディ 「日産自動車におけるデジタル戦略 その成果と今後 ～ ビジネス変革への挑戦 ～」 日産自動車株式会社 グローバル IS/IT 理事 能丸 実 氏		◆講義 「データドリブな会社の作り方」 東日本旅客鉄道株式会社 MaaS・Suica推進本部 データマーケティング部門 担当部長 渋谷 直正 氏	
	3 目 目	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「自分が変われば世界も変わる!よなよな エール流 差別化戦略とチームづくり」 株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役 井手 直行 氏	◆ケーススタディ 「トラスコ中山におけるDXの推進とそれを支える企業文化・ 風土の醸成と情報システム」 トラスコ中山株式会社 取締役 経営管理本部長 兼 デジタル戦略本部長 数見 篤 氏		◆講義 「デジタル化とビジネスモデル変革」 早稲田大学 IT戦略研究所 所長 / ビジネススクール教授 根来 龍之 氏	
	4 目 目	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「Challenge!」 日本ペイントホールディングス株式会社 常務執行役員 CIO 石野 普之 氏	◆講義 「デジタル時代に向けた企業内変革」 株式会社アイ・ティ・アール 会長 / エグゼクティブ・アナリスト 内山 悟志 氏		オリエンテーション (前半振り返り)	
後半	1 目 目			オリエンテーション	◆講義・ワークショップ 「デザインイノベーション」 株式会社BIOTOPE Business Designer / Trend Researcher 金安 壘生 氏		
	2 目 目	前日 振り返り	◆講義 「データと人工知能の最新動向と活用 事例」 テロイトトーマツ コンサルティング合同会社 執行役員 森 正弥 氏	◆ワークショップ 「既存ビジネスの変革 デザインキャンパ」 花王株式会社 情報システム部門 元部長 濱田 文吾 氏			
	3 目 目	前日 振り返り	◆ケーススタディ 「バイモーダルIT」 株式会社クレディセゾン 取締役 兼 専務執行役員 CTO 兼 CIO 小野 和俊 氏	◆ケーススタディ・ワークショップ 「イノベーション志向経営」 コニカミノルタ株式会社 常務執行役 市村 雄二 氏	◆ケーススタディ 「デジタル・トランスフォーメーション」 三井不動産株式会社 執行役員 DX本部 副部長 古田 貴 氏		
	4 目 目	前日 振り返り	◆講義・ワークショップ 「イノベーション経営の世界的動向の 変化」 一般社団法人Japan InnovationNetwork 常務理事 松本 毅 氏	◆講義・ワークショップ 「IT組織のデジタル戦略」 株式会社NTTデータ経営研究所 執行役員 エグゼクティブ・コンサルタント 三谷 慶一郎 氏		総括に向けて& オリエンテーション	
	総 括			発 表			修了式

参加者の感想

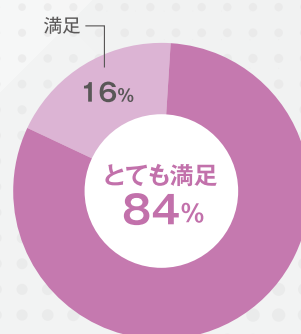
19期参加者からのコメント

- 企業風土とは、そこにいる社員が何を思っているのかということであり、そこには自分も含まれている。自分の考えを変えることで企業風土も変わると思えたことが今回の研修で自分が変わった部分です。
- 手を動かすことが仕事ではなく、「何のために」と止まって考えてみることで、当たり前なことを疑うことをしていきたい。
- 業務部門の伴奏者となれるよう、業務部門に寄り添い、積極的にタッチしていきたい。学んだことを組織にフィードバックするとともに、組織長として、組織をリードしたいと思う。
- イノベーションは一部の天才の所業ではなく、生み出す仕組みがあるとのこと。前向きになれました。
- 各事例において、講師の方々も、初めからすべてがうまくいったというわけではなく、いろいろ試行錯誤を繰り返しながら、その中で目的に向かって情熱をもって進められてきたのだということが大変よくわかりました。
- DXを組織面、システム面、人材面と全方位的に進めていくのはなかなか難しい中で、どのような順番でどのような領域からやっていくべきか、きちんと考えないといけないと強く思いました。

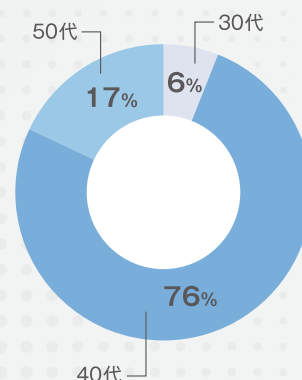
企業推薦者の期待

- 次世代経営管理職の育成の一環で、当社の代表としてイノベーション経営カレッジに参加し学ばせていただくことで、様々な知見に触れ、視野・人脈を広げ、デジタル変革を率先する人材として成長することを期待している。
- IMCJに参加することにより、プログラムを通してより高い視座の獲得と、同様の立場の外部の方々との意見交換を通して、見聞を深めてもらうことを期待している。
- ベースの能力は備わっているので新しい考え方やその取り組み方について一つでも多くこの研修を通して体感してほしい。

■ 全体評価 (1~19期)



■ 参加者の年齢層 (1~19期)



お問い合わせ・お申込み

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) IMCJ事務局

e-mail

im_college@juas.or.jp

TEL

03-3249-4101

HP

<http://imc-j.jp/>